

つくしんぼだより 9月号

平成30年8月24日
石原かがやきこども園
体調不良児保育
担当: 鈴木・青木

残暑は厳しいものの、朝夕の涼しい風に秋の気配を感じるようになりました。大きな事故もなく夏の休みを過ごし、少し日焼けをしてどこか大人っぽくなった子どもたちを見て、大変嬉しく思います。残暑を乗り切り、元気に過ごしていきましょう。

防災週間(8月30日～9月5日)

9月1日は防災の日です。過去の震災を教訓に、いざという時の対応を普段から考えておきましょう。

《非常時の持ち出し品の準備》

リュックの中には非常時の持ち物を詰めておきましょう。

《避難する場所》

避難場所がどこなのか、そこまでの経路を確認しておきましょう。

《地震で倒れやすい物がないか》

棚の上に置いてあるものは下ろし、倒れそうなものなどは固定するなどの工夫をしましょう。

《家族がはぐれた場合の連絡方法》

はぐれた時の待ち合わせ場所や緊急連絡先はいつも身につけるようにしましょう。



園の避難訓練の様子

園では水害、地震、火事を想定して毎月色々な避難訓練を行っています。園では避難訓練後に担当からよくお話しをしていますが逃げる際の心得『お・は・し・も』が合言葉になっています。



お・・・押さない は・・・走らない し・・・しゃべらない も・・・戻らない

救急の日 9月9日は救急の日です

ご家庭に救急箱がありますか？お子様がケガをしたり具合が悪くなった時にすぐ使えるように準備をしておきましょう。

- ・ 中身を点検しておきましょう（薬、ガーゼ、テープ、爪切り、ピンセット、絆創膏、体温計、脱脂綿、綿棒、包帯、はさみ、入れておくと便利です。
- ・ 薬の使用期限があるので、年に1度は確認をしましょう。
- ・ 消耗品は使ったら買い足しておきましょう。

風しんに注意

群馬県保健予防課より風しんのお知らせがありました。7月以降千葉県を中心に風しんが報告されており例年よりも患者が増えています。

風しんウイルスに感染すると2～3週間の潜伏期間を経て発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。

予防接種を受けてあるか母子手帳で確認しましょう。

対象年齢はⅠ期は1歳になったらすぐです。

Ⅱ期は小学校入学前の1年間です。

子どもとテレビ

乳幼児期は、外界の情報を視覚、触覚、嗅覚、味覚という五感の刺激をバランスよく自分自身に取り込みながら成長していきます。テレビなどからは、視覚と聴覚だけの刺激が一方向的に与えられるので、長時間見せっぱなしにすることは乳幼児期にはできるだけ避けたいものです。学齢期になったら親子で一緒に見て内容について語り合うなど、じょうずにつきあいたいですね。

